



平成28年4月1日創立

世田谷区立下北沢小学校

同窓会報

令和2年度
(令和2年11月発行)

発行所
世田谷区大原1-4-6
下北沢小学校同窓会

発行人
野地勝彰

北沢小学校同窓会が合流

同窓会長 野地勝彰(昭和二六年東大原卒)

今年度は新型コロナウイルスの影響で総会を開催出来ませんでした。そのため総会で議決していただく議題が持ち越されてしまったので九月に開いた評議員会で、会則に従って総会の決定に準ずる事項を議決し次回年度の総会に報告することになりました。中でも昨年度の決算報告と今年度の予算は重要事項ですので別ページの内容をご覧ください。

さて今年度最大のトピックは北沢小学校同窓会の合流が決まったことです。今年になって話し合いを続けて来ましたが検討が進んで来ましたので来年の総会を待たずに九月の評議員会で合流を議決しました。それに伴い会則も変更いたしました。

学校は既に二年前に統合されていましたが、これで同窓会も三校統合が完成したことになります。下北沢小学校はご存知のように新設校ではありませんのでこの機会に統合の歴史を遡ってみました。それによって三校は兄弟校であつたことがわかります。

まず初めに一九二七年(昭和二年)東京府荏原第三尋常小学校が下北小の場所に開校しました。当時は関東大震災と小田急線の開通によって近隣の開発が進み都心からの移住者が激増、児童数が二一八七名になり一九三二年(昭和七年)に守山小学校を新設して八〇〇名を移し、それでも二一九四名に増えたので一九三七年(昭和十二年)北沢小学校を開設、四六八名を移したのです。その後一九四一年(昭和一六年)に第三荏原は東大原と名前を変えました。ですから三校は元をたせば第三荏原からスタートしたわけで、下北小に統合されたということとは言ってみれば三兄弟が名前の変わった実家に帰ったと言うようなものです。下北小は三校の歴史を引き継いでいる小学校です。三校の卒業生は二五〇〇〇名を超えますが、名前が変われども下北小の卒業生であり下北小は我々の母校です。

下北沢小学校同窓会 第4回総会のお知らせ

日時: 令和3年4月18日(日曜日)
午後3時~5時
会場: 下北沢小学校体育館

講演会は、今年4月に予定しておりました流通経済大学スポーツ健康科学部准教授 元日本オリンピック委員会理事、藤原庸介さんのお話です。藤原さんは東大原小学校昭和41年3月の卒業生で、小学校5年の時、東京オリンピックがあり、学校から皆で甲州街道まで行きマラソンのアベベ選手を間近に見ました。

藤原さんは今回の東京オリンピックの誘致にも関わりました。藤原さんの小学校から現在に至るまでをお話させていただきます。

これからの同窓会は四校卒業生から選出される役員によって運営されることとなります。同窓会の目的の一つである、母校の教育環境の向上への活動は今後も積極的に続けて参ります。昨年度の大時計二個に続き別コラムにありますように三月にオンライン教育を開始するにあたりインターネット環境を整えるために、PTAと分担してタブレット端末五台を寄贈しました。これからも学校と連携を密にして母校の発展に尽力して参ります。

最後になります。総会を開催出来なかったために、会費とご寄付をお願いする機会がありませんでした。一方で活動費の他に北小同窓会の合流によって会員数は激増しますので会報の部数と発送費も激増します。同窓会は会員皆様の会費とご寄付によって運営されています。是非同封の振込用紙で納入いただきますようお願いする次第です。

